



座光寺風景

座光寺の菊人形飾り

苦労して集めた小菊で菊付けする
地域の女性の皆さん

発行 座光寺地域自治会
編集 公民館委員会
広報部
印刷 株南信州新聞社

人のうごき	
世帯数	1,540 戸
人口	4,673 人
男	2,277 人
女	2,396 人

(22年11月末日現在)

座光寺の菊人形飾りの始まりは、大正十四年であります。大正十二年に元善光寺駅が開業し、駅前から如来寺までの道路が開通した時に、駅前に「安来節」が飾られました。昭和元年に座光寺商工会によって、劇場衆楽園が建築され、大掛かりな菊人形が毎年飾されました。その後、二十一年ほど中断しました。昭和三十六年に「元善光寺菊華会」が結成されて、三十五年ほど続いています。平成九年に一時中止されましたが、翌十年に再々開されて、本年で十三年目になり、創業以来八十五年、公演年数六十年に及ぶ歴史があります。

再々開いた現在の菊人形飾りは、無料公演であること、舞台装置は業者に委託していますが、菊飾り、菊付けは地域の人々が分担しています。婦人方の菊付け技術は年々向上しています。

中央場面には、座光寺の芸能、他の四場面は、童謡等子ども向きのものが飾られ、会場には座光寺小学校合唱班の歌声が流れます。使用される菊は、「菊寿会」の方々により栽培され、地域の人々に支えられる菊人形であります。

本年は、八十五年振りに復活した「座光寺音頭」をメインにして、童謡四場面、菊人形十二体が飾られました。高



今年の夏まつりを題材に

温気象で小菊の開花が遅れ、菊付けには苦労が多くあります。菊付けには苦労が多くあります。協賛企業百六十五社以上の支援、地域協力二百三十口余の経理では不足ぎみで運営組織弱体化の悩みも多くあります。元来、「元善光寺菊華会」というのは、元善光寺門前町の発展を目指した地域の事業団体であります。ところが如来寺(元善光寺)の事業のように思われることもあります。そこで、座光寺自治会、麻績振興委員会でも、組織の再編成、名称の変更等話題になっています。

大正十四年に詠われた「座光寺音頭」音頭に桜菊にまんじゅうあふひ焼」のように、座光寺音頭の復活に相俟つて、菊人形の灯を点し続けばいいと思います。地域の皆様の一層のご理解とお力添えが必要となります。

菊付けには苦労が多くあります。協賛企業百六十五社以上の支援、地域協力二百三十口余の経理では不足ぎみで運営組織弱体化の悩みも多くあります。元来、「元善光寺菊華会」というのは、元善光寺門前町の発展を目指した地域の事業団体であります。ところが如来寺(元善光寺)の事業のように思われることもあります。そこで、座光寺自治会、麻績振興委員会でも、組織の再編成、名称の変更等話題になっています。

大正十四年に詠われた「座光寺音頭」音頭に桜菊にまんじゅうあふひ焼」のように、座光寺音頭の復活に相俟つて、菊人形の灯を点し続けばいいと思います。地域の皆様の一層のご理解とお力添えが必要となります。



大盛況の台湾公演

民謡を題材とした竹の子会オリジナル作品「クワングクワン」の三作品です。台湾では「布袋戲」と呼ばれる人形劇文化が根付

た。上演作品は竹田人形座のレパートリーである「都獅子」「子ども夢」スケルトンブギ」、日本の民謡を題材とした竹の子会オリジナル作品「クワンクワン」の三作品です。

竹の子会は、「竹田人形館を支える会」が主催する糸操り講座から生まれた劇団で、結成以来十二年、竹田扇之助師匠、元竹田人形座の鈴木友子先生の指導を受け活動されています。現在、座光寺地域内外から集まつた九人が竹田

去る十月十六日から十九日まで、台湾雲林縣で開催された「雲林國際偶戲節」に、竹田人形座竹の子の会が参加されました。

好提携を結んでいいだ人形劇フェスタ実行委員会から、人形劇を通じた文化交流と人形劇のまち飯田の発信を目的とした派遣依頼があり、この公演が実現しました。

公演には、座光寺地域の中学生三人を含む七人が参加さ

人形座の流れを汲む糸操りの
継承に取り組まれています。
「雲林國際偶戲節」は台灣
最大の人形劇の祭典です。今
回、「雲林國際偶戲節」と友

竹田へ形台灣で熱演

竹の子会



市内をパレードする竹の子会

いており熱狂的ともいえる支持を集めています。しかし文化や言葉の壁を越え、糸操り独特の繊細で表現力豊かな動きは台湾の人々の心をしつかりと掴んだようです。いずれの上演でも盛大な拍手をいただき、終演後は、求めに応じて実演したりカメラに納まり、観客の皆さんと大いに交流することができました。

今回、人形劇を通じて台湾の文化に触れ人々と交流した経験を大事にしながら、活躍の場がさらに広がることを期待しています。文化会館とともに、市内屈指の人形劇団であらわす力を今後の活動に付

団である竹の子会の活動に対し、一層の支援を検討していくところです。

また、竹田人形館の活性化についても地域の皆様方と一緒に取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご

理解、ご協力をお願い申し上げます。

竹の子会の活動について

竹田人形を支える会
会長 片桐直生

「竹田人形座竹の子会」は、竹田人形館館長竹田扇之助師匠より拝命を頂きました糸操り人形劇団の名称です。

年度は台湾で行なわれました
国際人形劇フェスティバルにて公演を行いました。江戸時代から続く日本伝統の技を学び後世に継承して行きたいとの思いで日々精進しております。

人形製作、演技を行ない公演協力者六名で活動をしていきます。毎月第一、三土日の月曜日、日鈴木友子先生の指導をいただき人形製作と人形操りの稽古をしています。

また毎年行なっています。いだ人形劇フェスタに参加は演、平成二十年には岡山県演、平成二十年には岡山県戸内市邑久町で毎年行なわれています喜之助フェスティバルにて公演を行いました。今

A black and white photograph of a group of eight people standing in front of a large movie poster. The poster features a woman's face and the text '第10届森林国际影展' and '2010'. The group consists of seven young men and one young woman, all dressed in casual attire.

台湾公演参加者

受けて十余年「竹田人形座竹田の子の会」の劇団発足に到達できたのは「人形劇のまち飯田」の宝である人形館の地元で竹田糸操りの伝統の灯を受け継ぐ萌芽と、この上ない歓びを感じました。

田人形座喜の会」の鈴木友さんとの「三番叟」を観た時、「遣い手を離れて、ひとり人が生き生きと動くかのよう、糸操りならではの芸」に魅られた思い出があります。



ロボットずもうに挑戦

去る十一月三日に半日の予定で飯田工業高校にて行われました。初めて工業高校での開催ということで御配慮頂き、製作品は電子オルゴー・電子ホタル・紙飛行機・メタルトンボの四種類の他にロボットの実演や、生徒さんが製作したモグラ叩きやイライラ棒などの体験ゲームまでを用意して頂きました。製作には細かな部品のハンダ付けや、大型機械による加工などがありました。しかし、先生方や生徒さんらの親切・丁寧な指導のお陰で怪我も無く無事に製作する事が出来ました。子供達が真剣な顔で製作していくのが印象的でした。貴重な体験が出来た一日でした。

育成部 今村 佳久

最初に、わたしは電子ほたるを作りました。わたしは、何故か最初から工業高校の先生がつきつきりで教えてくれました。去年、電子オルゴーを作った時、半田づけをしたことがあつて半田づけは二回目でした。それなのに、先生が、「上手だね」とか、「すごいね」と、すごく、いっぽいほめてくれました。そして一番最初にできあがりました。完成できてうれしかつたし、すごく楽しかつたです。

十一月三日文化の日で休みました。だから、飯田工業高校の科学教室で電子ホタルを作りました。だから、飯田工業高校の科学教室で電子ホタルを作りました。だつて、ここは、共働きでお忙しいご家庭や、何かとストレスの多い現代社会の中で、子どもたちが成長は家族だけではなく、地域ぐるみで助け合い、支え合っていくことが大切ではないかという考え方から始められました。

これは、共働きでお忙しいご家庭や、何かとストレスの多い現代社会の中で、子どもたちが成長は家族だけではなく、地域ぐるみで助け合い、支え合っていくことが大切ではないかという考え方から始められました。

さて、講演会を開くと言つても、全くそのような経験の無い素人の私が講演者に伝などあるわけも無く、誰を講師に招くべきか?と言うより、どうやって講演の依頼をするのだろう?など解らないことだらけでした。そんなとき、インターネット上で講演会の講師依頼会社があることを知り、そこで今回の講師、桂こけ枝さんを知りました。

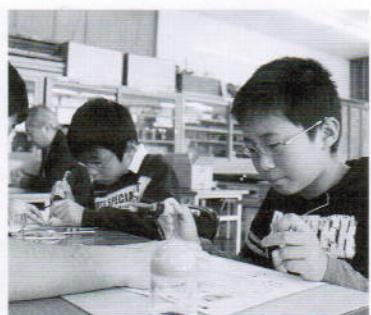
講演会は落語も一席ご披露いただけました。桂こけ枝さんの話は楽しく、そして解りやすく、色々と考えさせられました。心豊かでたくましい子どもの話を育てる地域づくりは、私ども大人こそが心豊かでたくましく生きなくてはいけないと感じました。

子ども科学教室

十一月三日 飯田工業高校にて

子ども科学教室に参加してみて

五年 勝野 成美



ハンダ付けにいどむ

楽しがつた科学教室

三年二組 福島丈吉

心豊かでたくましい 子どもを育む地域づくり

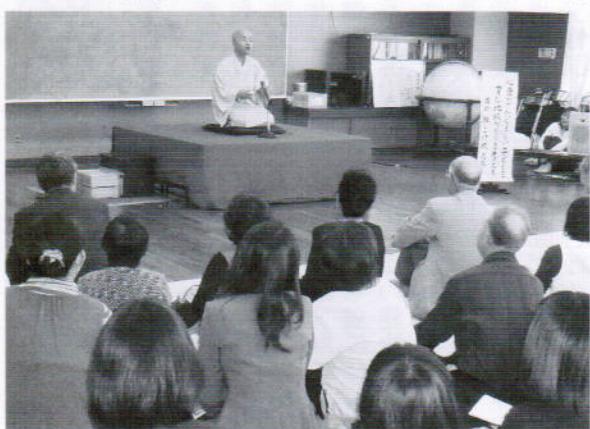
座光寺小学校教養部長

小森茂記

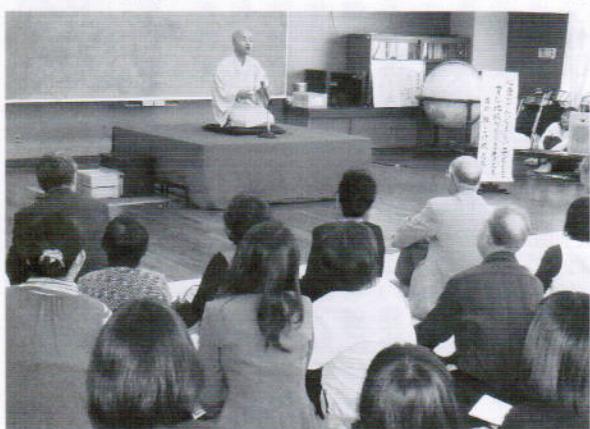
終わってから体育館に行つて、ゲーム体験＆スタンプラリーをやりました。その中で、一番おもしろかったのが、Let's光です。あと、一例まで来て最後に失敗してしまいました。他にもたくさんあって、すごくおもしろくて、時間が足りないくらいでした。お兄さんが親切に、分かりやすく説明してくれたので、うれしかつたです。

校舎の見学ができなかつたので来年も参加して見学をしたいです。

電子ホタルは、暗い所で光るのであまり、光らないと思つたけど明るい所でもたまに光りました。



落語も一席



「こけ枝のほのほの嘶く」もを育む地域づくりを考える「これなら、家庭と地域での子育てのテーマにピッタリだ」と思い決定しました。講演会には、何人くらいの方が聞きに来てくださるのかとても不安でした。結果は九十八人。もう少し多くの方々に聴講されるよう、来年は準備が必要だと感じました。

講演会には、何人くらいの方が聞きに来てくださるのかとても不安でした。結果は九十八人。もう少し多くの方々に聴講されるよう、来年は準備が必要だと感じました。

ふるさと座光寺会

総会開催される

がありました。

東京やその近郊で活躍されている座光寺出身の方々の集まりで、現在二百五十名余の会員を有しています。

去る十一月十三日、第三十二回定期総会がアルカディア市ヶ谷にて開催され、それに招かれこちら地元から、座光寺地域自治会の各委員長さんと自治委員の皆さんの中から、二十三名が参加し、交流を深めて参りました。

先方には、ご来賓の長野県人会連合会専務理事尾科様ら総勢四十名余の方々のご出席

さんは、「ふるさとに役立つ交流であつてほしい、心を繋いでほしい」と、力説されておりました。地元座光寺の近況は、夏祭りの復活した事、渋谷区との交流が始まった事などを、湯澤自治会長よりお伝えしました。

今後の計画として、平成二十三年四月三日郷土訪問観桜会（来飯されます）二十四年十一月十一日（土）第三十三回定期総会開催の確認をし、元

衆議院議員常任委員会専門員であった小島敏氏（座光寺出身）の「永田町の裏話」をお聞きしながら、実のある交流をして参りました。



りんご狩りをする渋谷の皆さん

よつこそ りんご狩り

座光寺地区では、渋谷区との交流を始める事になり、今年の三月に表参道と渋谷区の小学校に新ワイカリングの苗木を植えて来ました。

実際にリンゴが木になつているところを見てみたいといふ声が上がり、雨天の中、十月九日に渋谷区よりバス二台とマイカーで約百名の方々が原地区ヘリンゴ狩りに来ました。

まず、元善光寺でご住職のお話を聞き、身を清め、午前午後に別れ、晴天ならば南ア

ルブスの山々の眺望も良かつたでしようがあいにくの雨の中で初めて木になつていてりんごを見て感激し「シナノスイート」と「シナノゴールド」のリンゴ狩りを行いました。

直接リンゴを取る事と丸かじりでリンゴを食べる事が皆

始めての事のようでとても喜んでいました。

おいしい、おいしく皆大喜びで食べてくれました。

「是非また来たい」「こういう所に住んでみたい」と言う声も多く聞こえました。

我々が何気なく目にしている風景が都会の方々に感動を与えるとは思いませんでした。

このリンゴ狩りにご協力いたいた皆様に感謝し、リンゴ狩りだけではなく、今後座光寺地区と渋谷区との交流が益々盛んになって行く事を願っております。

原営農プロジェクト代表
代田 勝

ふるさと座光寺会



あいさつをする湯澤自治会長

麻績の里振興委員会委員長 今 村 衛

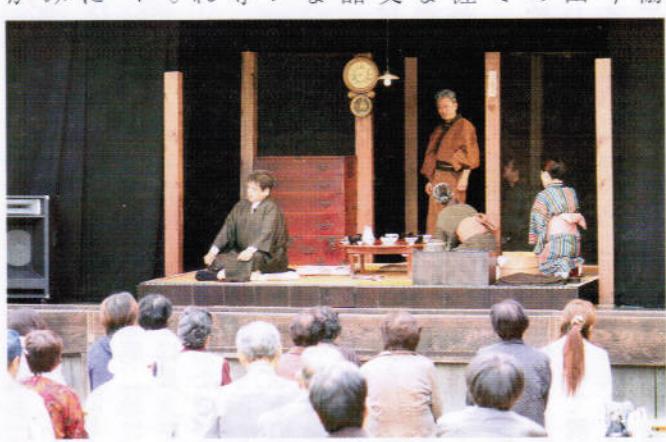
十月十七日麻績の里振興委員会と座光寺公民館主催によ

る市民による演劇集団演劇宿が舞台校舎において、午後一時と午後四時と二回公演致しました。麻績の里振興委員会第三班が中心となり、この公演についてすすめて来ました

が、これも、桜など周辺環境の整備を進め、麻績の里が誇る文化施設（舞台校舎、竹田人形館、麻績史料館等）との相乗的な利活用を進めるとい

う委員会の事業の一環として、演劇宿がこの舞台校舎において公演する事で協力を来て来ました。今回で六回を迎える演出家ふじたあさや先生の指導のもとで、今までに歌人金田千鶴の生涯など公演しております。今回は、戦前の文壇の巨匠菊地寛の作品「父帰る」を上演しました。

この公演時間は短いのですが、家族の絆等いろいろ考えさせられるものがありました。戦前の作品とは言え、現在私達の家族関係について今一度考えてみる事も大切ではないか



熱演する劇団員

演劇宿の公演について

敬老祝賀会開催

健康福祉委員会福祉事業副部長代田美咲

去る十月二十四日に、健康福祉委員会主催の敬老祝賀会が、地区内の七十五歳以上の方八十二名と、来賓の方々をお招きして盛大に催されました。曇り空の肌寒い日でした。

した。大勢の方が、申請されました。が、スムーズに行えました。

ました。皆様元気にお集まり頂きました。まずマイクロバス二台が、各乗車場所を巡回して乗って頂きました。人数が多い為二台ともピストンでした。勿論歩いてこられる方、また自分で運転して来られる方も多数おいででした。今年初の試みとして、免許証などを持つて無い方を対象に、住基カードのプレゼントがありました。申請書を提出して頂き、写真撮影を行いましたが、皆様元気にお集まり頂きました。

参加者代表として、山田豊太郎様の御礼の言葉がありました。今年もまた、一年間かけて作って下さった鶴を全員に頂きました。休憩を挟み警察官の方から寸劇で交通安全講話がありました。そして、湯沢啓次市会議員様の乾杯で祝宴が始まりました。

時が経つにつれ、皆様にこやかに歓談されまた、久し振りで合った人達との交流などで話が弾んだ様子でした。各

サーケルの素晴らしい余興もあり、大いに盛り上がりました。最後に座光寺の歌を全員で歌いました。そして万歳を小学校長の中村貴俊先生にして頂きお開きとなりました。皆様、お帰りの際には、「よかつた」「また来年も出席したい」などの多くの言葉が聞かれ嬉しく思いました。

一切を終了し最後に係全員で、反省会を致しました。細かな改善点など幾つかありますでしたが、成功裏に終える事ができ皆充実感で一杯でした。私もいわゆる団塊の世代の人です。今後ますます高齢化が進んで来る事でしょう。でもこうした催し物を例に考えてみましても、ご近所の助け合い、見守り、関心などがある、これが地域全体にコミュニケーションの輪が広がっていくものと思います。皆で手を取り合い、支え合える社会を考えて行きたいのです。



なごやかな歓談

安全に心がけ事故の無い
明るい家庭を

生活安全委員會



などです。仮に交通事故が起きてしまった場合、連休には県外車が増えるものの、県外車の死亡事故は五、六年に一人くらいで、全物損事故の一割もないんです。という事で、地元の車同士の交通事故がほとんどです。

田舎の運転手は、マナーが悪いと言われていますが、要

- ・田舎の道路の現状は、道が狭く、センターラインの引かれている道路が少ない。
- ・カーブが多く、交差点も多い。
- ・道路幅での優先が甲乙つけ難い。
- ・道路幅が狭い為、右折しようとすると後部は渋滞するし右折専用が少ない。
- ・横断歩道が少ない。

また、進路変更は、道路のセンターに寄る三秒前に、方向指示器を出し道路のセンターに寄り、進路変更するよう法令で定められています。

いマナーとして、方向指示器を出すのが遅く、ハンドルを切り始めて方向指示器を出す運転手が多いのが現状です。運転者自身の進路を他の運転手に知らせ安全を知らせるという意味であり、法令でも右左折しようとする三十メートル手前で方向指示器を出すよう定められています。





議員との意見交換

平成二十二年度飯田市議会の、座光寺上郷地区を対象にした報告会が、去る十一月四日(木)午後七時より、座光寺公民館大会議室にて開催されました。この日は、両地区より、住民百二十余名の方々、また、市議会側より中島議長、地元の湯澤議員ら総勢十三名の面々が出席しました。

議会報告会は、年間の市議会の動き、日頃の議員の活動の様子等を、広く市民に知つてもらう事、また、市民が何

に関心を持つているか、どう考へているか等を知る為、市議会の役割についての説明がありました。市長職もそうですが、議員もまた、選挙で選ばれた皆さんですので、それなりの重みが有る点、また当然の事ながら、行政の監視役としての機能の有る点等の説明がありました。

先日開かれていた飯田市議会の第三回定例会は、八月三十一日から、九月三十日までの三十一日間の日程で開催されました。この間、議案審査件数は十三件。このうち、主な物は

- ・議案第八十号、飯田市職員定数の一部を改正する条例審査(定数五七七人から、六五〇人に変更する)
- ・議案第八十八号、長野県地方税滞納整理機構の設置に関する審査等

の説明がありました。

後半は、四つの分科会に分かれ、テーマ毎に意見交換が行われました。

第一分科会
林委員長を進行役にして、

飯田市議会報告会開催される

議会主催で、毎年開催されております。昨年は上郷地区で開催されましたが、年毎に交替という事で、今年は座光寺での開催となりました。

まず、中島議長さんより、

議会の役割についての説明がありました。市長職もそうですが、議員もまた、選挙で選ばれた皆さんですので、それなりの重みが有る点、また当然の事ながら、行政の監視役としての機能の有る点等の説明がありました。

先日開かれていた飯田市議会の第三回定例会は、八月三十一日から、九月三十日までの三十一日間の日程で開催されました。この間、議案審査件数は十三件。このうち、主な物は

ゴミ減量化に対する意見。

観光整備に伴い駐車場確保に対する意見。農業の遊休地と後継者不足に関する意見、スマートインターナーに関する意見もありました。

第四分科会

ゴミ減量化に対する意見。

観光整備に伴い駐車場確保に対する意見。農業の遊休地と後継者不足に関する意見、スマートインターナーに関する意見もありました。

ゴミ減量化に対する意見。

観光整備に伴い駐車場確保に対する意見。

農業の遊休地と後継者不足に関する意見、スマートインターナーに関する意見もありました。

第二分科会

りんご庁舎に関する意見。

ダブルホーム等との日頃から

の交流の大切さ、地域活動

の中で個人情報保護のかべ、

座光寺地域の障害者施設の無

い点、などに関する意見がで

ました。

第三分科会

ゴミ減量化に対する意見。

観光整備に伴い駐車場確保

に対する意見。農業の遊休地

と後継者不足に関する意見、

スマートインターナーに関する意

見もありました。

初めまして!
女性消防団員です



私たち座光寺消防団予防救護班は、男性の班長を中心には女性二人で活動しています。

今年度の飯田市消防技術大

会では、男性団員一人をメン

バーに迎え、新たに学んだA

E Dを使つた心肺蘇生法と、

三角巾を使つた包帯法の技術

を他の分団と競いました。昨

年は十八分団中十八位とい

う、とても不名誉な結果でし

た。それを受け、昨年から日

赤奉仕団の月一回の練習に参

加させていただきました。今

年度に入りゴールデンウイー

ク明けから班長指導のもと、

連日練習に励みました。今年

から新たに加わったA E Dと

心肺蘇生法により、練習方法

も例年通りではなく、どうし

たら技術を習得できるかを班

員で試行錯誤しながら進めま

した。班長がダミー人形を手

作りしてくれたり、練習用A

E Dを用意してくれたこと

も、班員の練習への士気を高

めました。

そうして迎えた飯田市大会

では、練習の成果を発揮でき、

三位入賞を果たしました。

この成果を今年で終わらせ

てはいけないという思いか

ら、現在は新たな団員確保に

取り組んでいます。

私たちと一緒に消防団活動

をしませんか。待ってます!

(女性団員)



3位入賞の喜び

外出に関するアンケート 調査結果

車を持っていなかったり高齢だったりして、買い物や通院など外出に不便を感じている人がいます。自治会では、そうした皆さんに地域として何か応援できないか考えています。

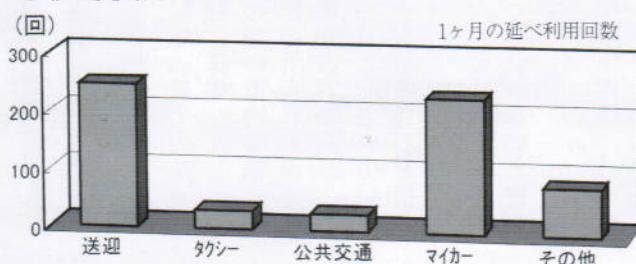
そこで、実態を知るために6~7月にアンケートを実施しましたのでご報告します。

今後、この結果を元に生活支援交通検討小委員会を中心に、検討を進めていきます。

●調査方法 組合加入者全員を対象に、外出や移動方法について不便を感じている方にお答えいただきました。その結果、全住民の3.7%に当たる174人からご回答をいただきました。そのうち3/4が65歳以上の高齢者でした。

●調査結果

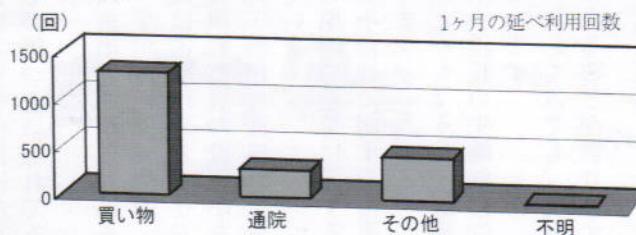
○移動手段について



移動手段には、車や徒歩のほか路線バスなどの公共交通機関の利用、タクシーの利用、それと家族や知人に送り迎えをお願いする送迎などがあります。

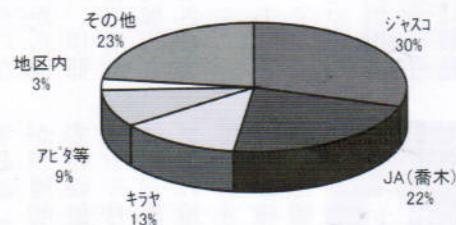
家族や知人の送迎が非常に多いことがわかります。マイカーと答えた方は、今後に不安を感じている人と思われます。

○移動先、目的について

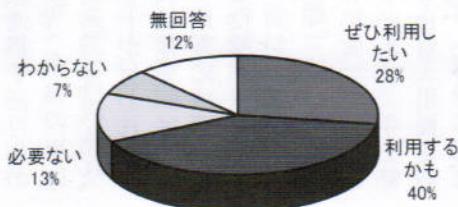


「買い物」の内訳

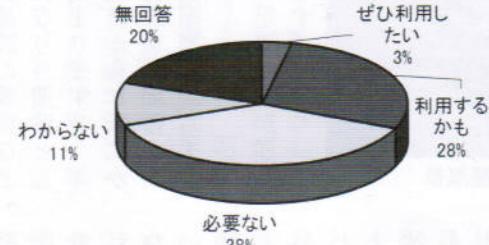
買い物が特徴的で、行き先は地区内にお店がないことから、近隣の大型店舗に分散していることがわかります。詳細に見ていくと、通院では比較的タクシーを使い、買い物では送迎に頼る傾向が見てとれます。通院は頻度が少ないとえに時間が不規則になることが原因と思われます。



○移動式食料品店があったら利用しますか



○給食(配食)サービスがあったら利用しますか



●分析と今後の展開

この調査からわかる傾向としては、高齢者を中心に食料品など日々の生活に必要な買い物に不便を感じている人が多い実態です。特に地区内に食料品・雑貨を購入できる店がないため、手間やお金をかけて周辺の大型店に行かなければならぬ状況がわかれます。路線バス阿島循環線や乗合タクシー上市田線については、時間・便数・運行経路などに注文があります。乗合タクシーは若干利用が進んでいるようですが、まだまだ馴染まていないようです。

家族や知り合いによる送迎については、気兼ねだとする意見もある一方で、ひとり暮らしのお年寄りの社会とのふれあいの機会であり、積極的に評価すべきとの見方もあります。

これらの結果から、外出対策としては、バスや乗合タクシーなどの公共交通の対策だけではなく、幅広い視野を持って当たらなければならないことがわかりました。そのためには、地域全体で様々な意見や知恵を出し合っていくことが大切になります。

シリーズ① 最見塚(最後塚)



一、最後塚の伝説

本沢と並木沢の合流地点の上方に、桜の木の聳える古墳があります。古くから、「最後塚」と呼ばれ、「武田勢と後塚」と呼ばれ、「武田勢と知久勢の戦いの後に討ち死にした兵士を葬ったところで、雨の降る夜、丑三つ刻に塚を七回り半して地に耳を当てる」と「陣馬の雄叫び」が聞こえる」と伝えられています。

二、最見塚(さいみ)塚とは

所は「さいみ」と呼ばっています。「さいみ」は境目とす

三、最見塚の位置

構築された最見塚古墳の場所は「さいみ」と呼ばっています。戸時代には「経塚」として利用されたのかも知れないと書かれています。

四、古代東山道コースの一つ

下伊那史第二巻によると、重美氏先代が塚の中程から堀を掘り出した。その後年間に今村治郎氏(今村重美氏先代)が塚の中程から堀を掘り出した。その後家人の病気が続いたので、元からあつた宝鏡印塔を「若宮様」として祀り、今は村家の氏神様とされています。大

④恒川とやちょうじ・飯沼を結ぶ小段丘の先端部に位置しています。何れにしてみても、境目の位置にあることが判ります。

①高岡古墳群の西外れにあり、平坦地では五郎田・飯沼には古墳はありません。②古代伊那郡衙の役所がある高岡・恒川の西外れに位置しています。



「さいみ塚」の景観



発掘風景

恒川遺跡発掘調査

～政庁跡を求めて～

今年は平城遷都千三百年の記念すべき年。奈良の平城京跡には大極殿が再現され、様々なイベントが行われました。この時代は律令国家の仕組みができ、地方には国・郡・里と呼ばれる役所が置かされました。恒川遺跡群は、古代伊那郡の「伊那郡衙」であることが分かっています。今までの発掘調査で正倉(租税を納める倉庫)、館(郡衙に勤務する役人の宿泊施設)、厨(役人の食事どころ)が分かつてきましたが、郡庁(郡司が政務を行うところ)の所在が分かりません。これがはつきりすると、郡衙遺跡の規模などが一層明確になり、遺跡としての価値が高まります。

十一月十五日から年末にかけて、高岡森の東・加藤ボンブ店の地で発掘調査が始まっています。

政府確認の足掛かりが掴めればと願います。

編集後記

また、寒い季節がやつて来ました。冬には、ストーブや温風ヒーター、電気カーベット、エアコンで暖房ができる。時代の流れで手軽に便利になりました。当たり前のようになります。暖房器具にとつてもすべてがどこまで行きつくのかわかりません。けれど、生きて行く知恵や手段、さまざまな思惑の中で、夢、希望、未来といった理由を付けて。進化する事は、悪くはなく、すべらしの事でしょう。しかし、その為に起こる反動や代償も決して少なくはないのです。人間が誕生して、何年経つかわからなければ、長い歴史の中で、発達があるにも早すぎる気がしますね。私たちにできる事は何かと問われると難しいけれど、おじいちゃんおばあちゃんの言葉を聞き、若い世代の人達の考え方を聞き、古きと新しきのバランスを保ちながら生活をして行ければ良いのかもしれません。核家族化が進み、お盆とお正月に故郷に帰つてみんなでお話ができるといいでですね。その年末がきます。あたたかい年越しになりますように。みなさん良い年を越せますように。

(小島)